

想定問題
350問

平成20年度からスタートの登録販売者試験に向けて

登録販売者試験 想定問題集

登録販売者試験 想定問題集

医薬品に共通する特性と基本的な知識

人体の働きと医薬品

主な医薬品とその作用

薬事関係法規・制度

医薬品の適正使用・安全対策



薬事日報社

一般用医薬品の新たな販売制度を盛り込んだ改正薬事法が、平成21年に施行されます。

新制度では、一般用医薬品をリスクの程度に応じて、第1～3類まで3段階に区分すると共に、第2類および第3類医薬品の販売に携わることができる「登録販売者」が、新たに制定されることになりました。

このうち登録販売者に関しては、平成20年4月に施行されることが既に決まり、これを受けて20年度から各都道府県において、登録販売者試験が実施されます。登録販売者は一般用医薬品に関する適正な販売、相談、情報提供等を社会から負託された専門家であり、試験はそれに相応しい資質を備えているかを確認するものです。

登録販売者試験は平成20年度からスタートします。実際に都道府県がどのような問題を出すのか、現段階では全く予測が付きませんが、この書は試験問題作成に関する手引きの中で、ポイントと考えられる部分に重点を置いて、想定問題を作成しました。

B5判・約450頁・定価4,200円（本体4,000円）

本書
の
特
徴

- 登録販売者を目指す人たちに、制度の概要、受験の方法などを、分かりやすく簡潔に解説
- 厚生労働省が試験の出題範囲として示した「試験問題作成に関する手引き」全文を掲載
- 試験問題作成に関する手引きをもとに、都道府県が実施する試験の想定問題を約350問作成し、正答・解説を掲載

目
次

1. 登録販売者となるためには
2. 出題範囲の概要
厚生労働省
「試験問題作成に関する手引き」より
3. 想定問題&解答
第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識
第2章 人体の働きと医薬品
第3章 主な医薬品とその作用
第4章 薬事関係法規・制度
第5章 医薬品の適正使用・安全対策